

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	選択必修
担当教員			
木戸 宜子			
添付ファイル			

講義概要	事例への援助場面をロールプレイやグループスーパービジョンをとおしてスーパービジョンの知識や技術を体得する。また専門職間のスーパービジョン体制のあり方について、実態を調べ、今後のスーパービジョン体制について考察を深める。また、機関内外の専門職間の協働の促進を図るためのスーパービジョン体制のあり方について考える。
各回の進行予定	<p>第1回 スーパービジョンとは何か スーパービジョンの定義・分類整理、福祉組織におけるスーパービジョン体制・構造の確認</p> <p>第2回 スーパービジョンシステム・形態 スーパーバイザーの職務・ポジショニング、SWスーパービジョンの機能</p> <p>第3回 スーパービジョンの実際 ソーシャルワーク業務の目的、目標、倫理、方法の確認、事前対応的スーパービジョンのプロセス</p> <p>第4回 福祉人材育成に関わるスーパービジョンの課題 スタッフとのコミュニケーション、業務の自律性と組織的管理</p> <p>第5回 スーパービジョン事例演習 ロールプレイ、ニーズアセスメント、スーパーバイザーからスーパーバイジーへの声かけ・問いかけを考える</p> <p>第6回 実践と理論との関連性を学ぶ 業務をする上でスタッフが抱える課題に焦点をあてて、スタッフの強みを捉える</p> <p>第7回 事例演習・グループスーパービジョン グループスーパービジョンの利点・不利点、サービス調整や他専門職との連携、役割・機能に焦点をあてる</p> <p>第8回 まとめ スーパービジョン体制の意義、スーパーバイザー・スーパーバイジーの役割と責任、スーパービジョン事例の捉え方・視点をふりかえり、確認する</p>
講義のねらいと到達目標	<p>【講義のねらい】 職場において専門職としての資質向上を図る技術としてスーパービジョンを習得し、スーパーバイザーの役割を担うことをめざす。</p> <p>【到達目標】 職場におけるスーパービジョンのためのプログラムを作成できる。</p>
指定教科書(テキスト)	
参考文献・関連URL等	<ul style="list-style-type: none"> ・福山和女・渡部律子・小原真知子・浅野正嗣・佐原まち子編著『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョン：支援の質を高める手法の理論と実際』（ミネルヴァ書房、2018） ・福山和女・田中千枝子責任編集、日本医療社会福祉協会監修『介護・福祉の支援人材養成開発論』（勁草書房、2016） ・アルフレッド・カデュエシ、ダニエル・ハークネス著、福山和女監修『スーパービジョン イン ソーシャルワーク』（中央法規、2016）
出欠確認方法	教員による目視ならびにリアクションペーパー。3回以上欠席した者の単位認定はできない。
成績評価の方法	評価は到達目標の達成状況を踏まえて行う。リアクションペーパーの記載内容（5点×8回＝40点）、課題報告を含む授業への参加姿勢（20点）、課題レポート得点（40点）を総合して評価する。課題レポートについては、スーパービジョンについての理解、習熟度について評価する。
成績評価基準の内容	60点以上を可とし、60点未満の場合は不可とする。期限までに課題レポート提出のなかった者は単位認定できない。
事前・事後学習のためのアドバイス	*事前課題レポートとして、本科目の受講の理由と目標を500字以内にまとめ、初講日に提出のこと。
他の科目との関連、教育課程の中での位置づけ、キーワード	スーパービジョン体制、スーパーバイザー、管理機能・教育機能・支持機能 【認定社会福祉士研修認定科目】
ベンチマーク	この科目で獲得を目指すディプロマ・ポリシーについて次のように優先順位を位置づけています。 1. ウェルビーイングを基盤とした職業的倫理を深く理解した実践的な専門的職業人である者 2. イ理論と実践の両面にわたる能力を備えている者 3. ア福祉実践とその現場の創造的な発展に必要な基本的な知識を修得した者